

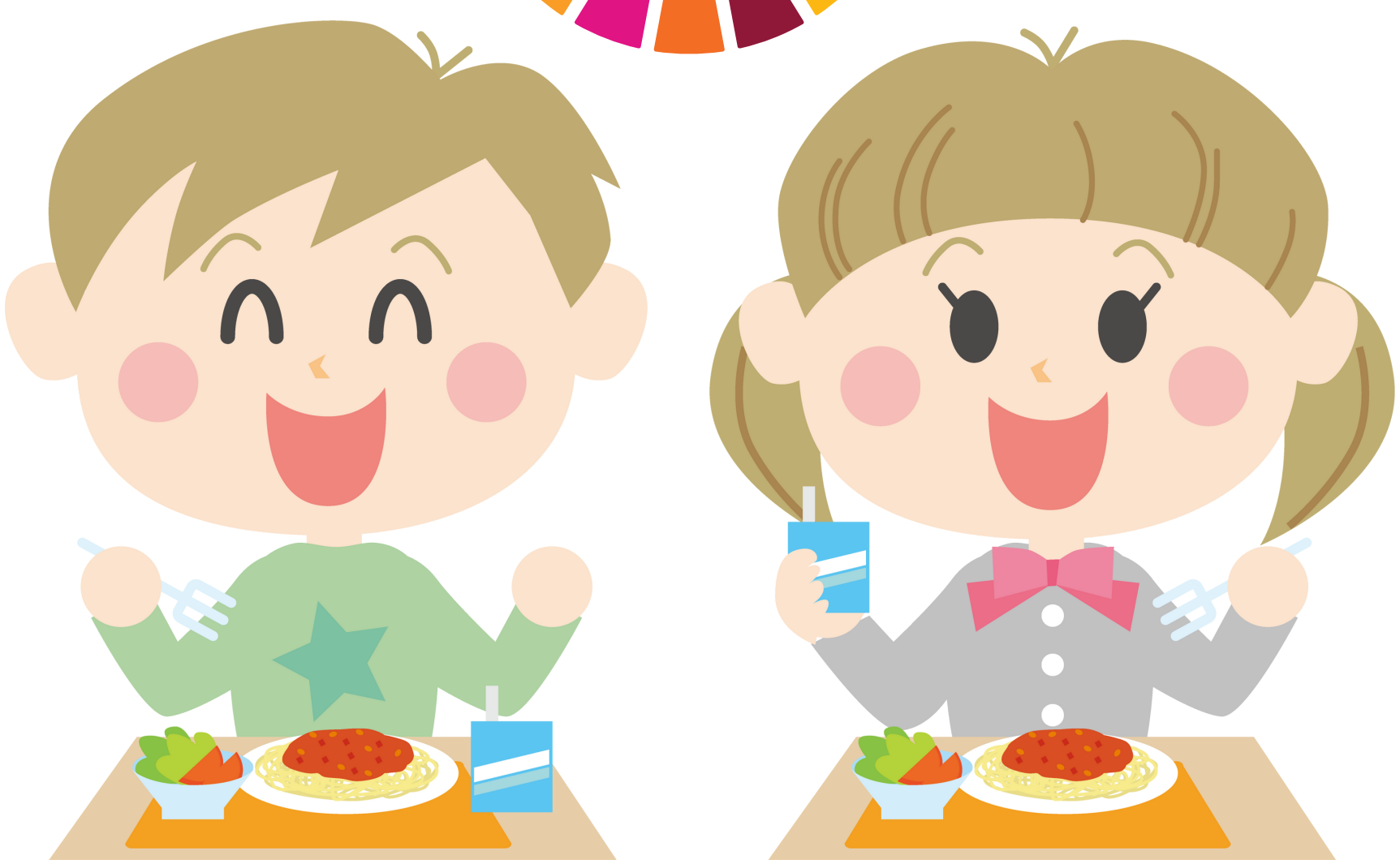
オーガニックスク給食の導入！

特別栽培農産物の品目追加を

減農薬・無農薬は

「生物多様性」を

守ることも寄与



- 「みどりの食料システム戦略に関する関係府省庁連絡会議」を設置し（令和4年4月）、内閣府、金融庁、消費者庁、総務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省との連携体制を構築
- みどりの食料システム戦略に基づき、下水汚泥資源の肥料利用の拡大や学校給食における有機農産物の活用など、関係府省庁が連携した調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組を展開

みどりの食料システム法に基づく事業者の認定

- ・みどりの食料システム法に基づく事業者の認定【基盤確立事業を所管する省（財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省）】
R4年中に環境負荷低減の取組に資する技術を提供する17事業者を認定

下水汚泥資源の肥料利用の拡大

- ・下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた官民検討会の開催（R4年10月～）【農林水産省・国土交通省】
下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた論点整理（R5年1月）
- ・下水汚泥の肥料利用の促進【国土交通省】R4補正30億円
下水汚泥資源の流通経路の確保等に向けたマッチングや施設整備、PR等を支援（約100箇所を予定）
- ・ペレット堆肥流通・下水汚泥資源等の肥料利用促進技術の開発・実証【農林水産省】R4補正10億円（国交省と連携）
ペレット堆肥の広域流通や下水汚泥資源を原料とする肥料の製造効率化の実証等を支援
- ・国内肥料資源利用拡大対策【農林水産省】R4補正100億円
原料供給事業者、肥料製造事業者、耕種農家等の連携による国内資源の利用拡大に向けた取組を支援

SAF（持続可能な航空燃料）の導入に向けた検討

- ・SAFの導入促進に向けた官民協議会の開催（R4年4月～）【経済産業省、国土交通省、農林水産省、環境省、経産省、国交省が中心となって進める、SAFの導入にあたって技術的・経済的な課題を議論・共有し、官民一体となって取組を進める協議会を開催。

学校給食における有機農産物の活用

- ・有機農業産地づくり推進【農林水産省】R5当初7億円の内数、R4補正30億円の内数
有機農産物の学校給食等での利用など、有機農業の面的な拡大に向けて、生産から消費まで一貫した取組を地域ぐるみで進める市町村への支援（R3補正、R4当初：18件）
- ・食育の推進【農林水産省、文部科学省】
第4次食育推進基本計画において、みどりの食料システム戦略及び学校給食での有機食品の利用について記載（R3年3月）
- ・学校給食地場産物使用促進事業【文部科学省】R5当初0.5億円
学校給食における有機農産物等を活用する際の課題を解決するために必要な経費を支援
- ・有機農業推進総合対策緊急事業【農林水産省】R4補正30億円の内数
公的機関の給食等、新たな市場への有機農産物の試験的な導入への支援

バイオマスの活用推進

- ・新たなバイオマス活用推進基本計画の策定【内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省】
関係7府省会議で検討し、みどりの食料システム戦略について記載（R4年9月閣議決定）
- ・バイオマス産業都市の選定【上記関係7府省】
R4年度までに101市町村をバイオマス産業都市として選定

持続可能な食料・農林水産業に係る国際的な発信

- ・ASEAN+3農林大臣会合、COP27、COP15、OECD農業大臣会合、G20農業大臣会合、国連食料システムサミット等における発信（令和3年～）
【外務省、農林水産省】



野村農林水産大臣より、持続可能な農業及び食料システムの構築に向けたASEAN地域への日本の協イニシアティブである『日ASEANみどり協力プラン』を発信（ASEAN+3農林大臣会合（令和4年10月））

みどりの食料システム戦略に基づき、環境と調和のとれた食料システムの確立に向け、関係府省庁が連携した取組を展開

消費者に向けた対外的な発信

- ・持続可能な社会の実現に向けた消費者向けシンポジウムの開催（令和4年3月）【農林水産省、消費者庁】
- ・「あふの環」を通じた持続可能な消費の促進（令和2年度～）や、食と農林水産業に関わる持続可能な取組の動画の表彰（令和2年度～）【農林水産省、環境省、消費者庁】

脱炭素先行地域

- ・R4年度に地域資源であるバイオマス資源を活用した提案を含む46提案を脱炭素先行地域として選定【環境省】
- ・今後、施策間連携の取組を推進【環境省・関係府省庁】

ESG金融の推進

- ・「農林水産業・食品産業に関するESG地域金融実践ガイド」の公表【農林水産省】
- ・地域金融機関による農業分野での特徴的な取組事例の調査【金融庁】

革新技術創出に向けた研究開発の推進

- ・将来の技術革新を支える、バイオマス生産・活用等に係る研究を推進【内閣府・文部科学省】

区立中学校への進学

安定した受入体制を

学級数の増加に伴う教室確保に対応できるように



中学校（抽選校：今年度0校、昨年度4校）

令和4年11月7日現在（単位：人）

学校名	受入れ可能数	入学希望者数 ※1	入学希望者数の内訳			抽選の有無
			通学区域内	通学区域外からの選択希望	抽選対象者数	
御成門	105	211	61	150	-	無※2
三田	140	279	140	139	-	
高松	140	320	237	83	-	
港南	140	273	271	2	-	
白金の丘学園白金の丘	105	158	123	35	-	
六本木	105	229	164	65	-	
高陵	105	262	193	69	-	
赤坂	105	132	106	26	-	
青山	105	109	91	18	-	
お台場学園港陽	70	43	38	5	-	
計	1,120	2,016	1,424	592	-	

※1入学希望者数には、通学区域内の学校選択希望票未提出者、区立学校以外への入学予定者等を含みます。過去3年間の平均入学率（入学者数/入学希望者数）は約38%となっております。

※2入学者数が受入れ可能数内に収まると見込まれるため。

出所：港区HP「令和5年4月新入学学校選択希望制集計結果」より